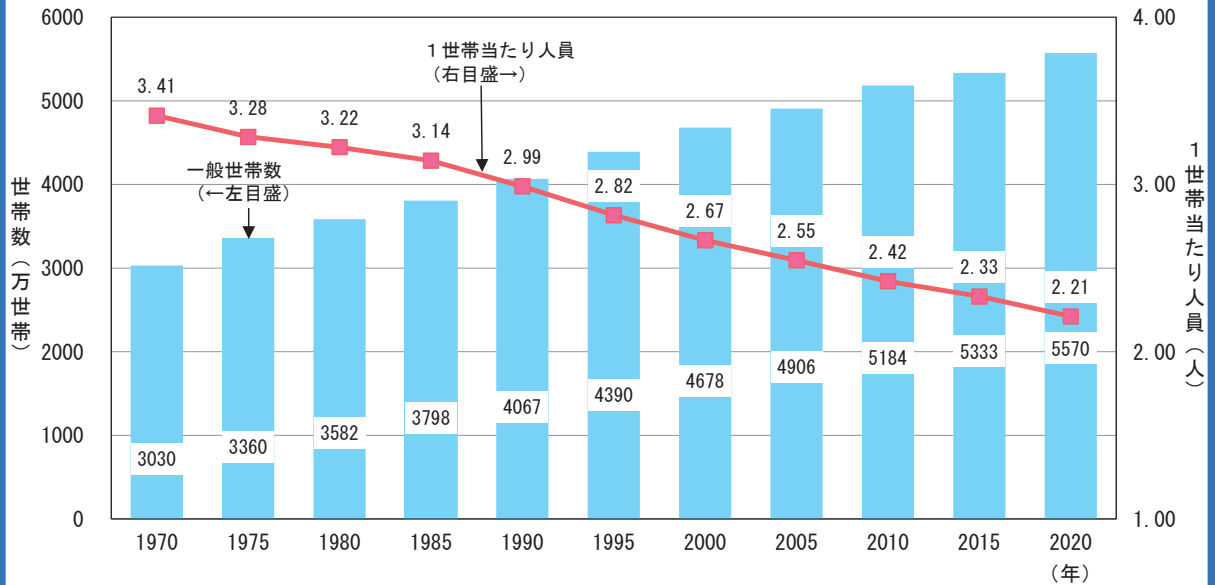


2-8 家族 -これからは「一人暮らし」?-

買い物をした際、お惣菜などのパックが以前より小さくなったように感じたことはありませんか？ その背景には、一人暮らしの世帯が増えたことがあるのかもしれませんが。

Q1 世帯数はいくつある？

一般世帯数及び一般世帯の1世帯当たり人員の推移-全国(1970年~2020年)



A 2020年の世帯数は5570万世帯

- ◆ 一貫して世帯数が増加し、1世帯当たりの人員は減少
- ◆ 2020年の1世帯当たり人員は2.21人

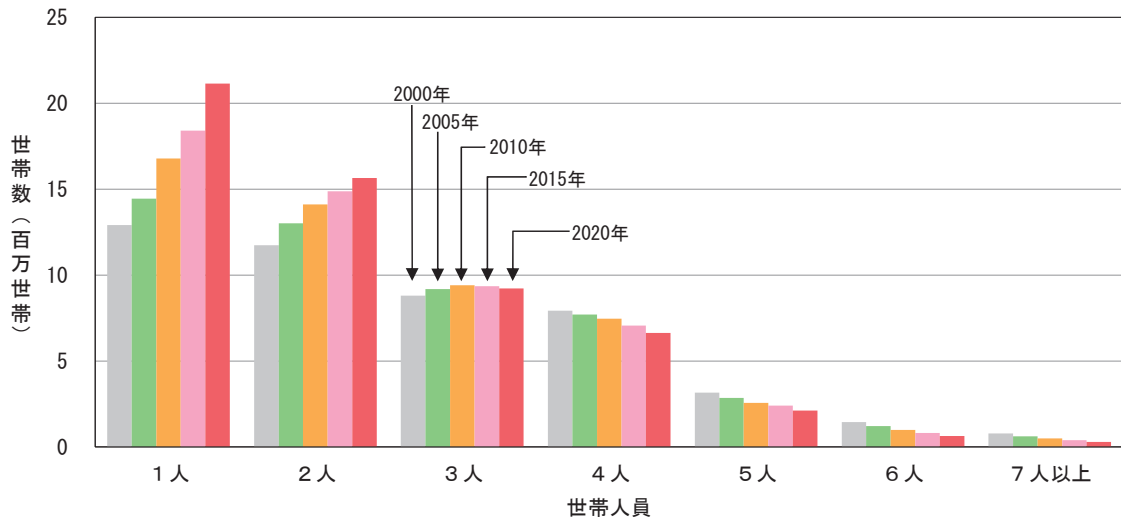


《ポイント》

人口が減少したにもかかわらず、世帯の数が増えている理由として、1世帯当たりの人員が減っていることが考えられます。例えば一人暮らしの人は1人で1世帯と数えられるため、人口が減少していても一人暮らしの人が増えると、世帯数は増加します。

Q2 何人世帯が最も多い？

世帯人員別一般世帯数の推移—全国（2000年～2020年）

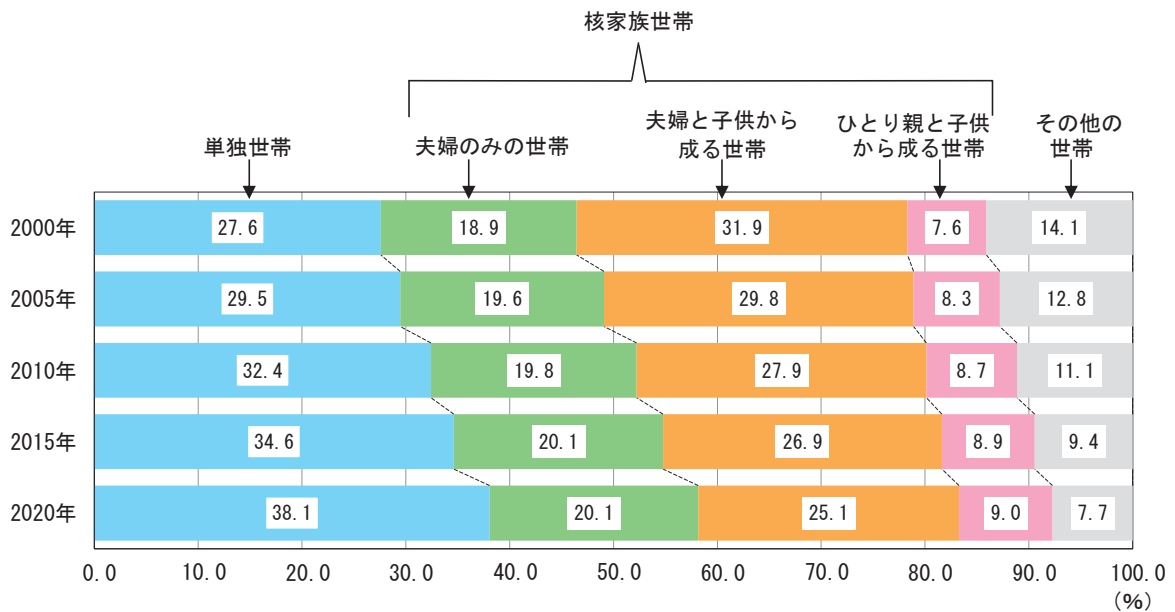


A 世帯人員は1人が最も多く、2020年は2115万世帯

- ◆ 世帯人員が2人以下は増加、3人以上は減少

Q3 家族構成で最も割合が高いのは？

一般世帯の家族類型別割合の推移—全国（2000年～2020年）



A 2020年は、「単独世帯」の割合が38.1%と最も高く、4割に迫る

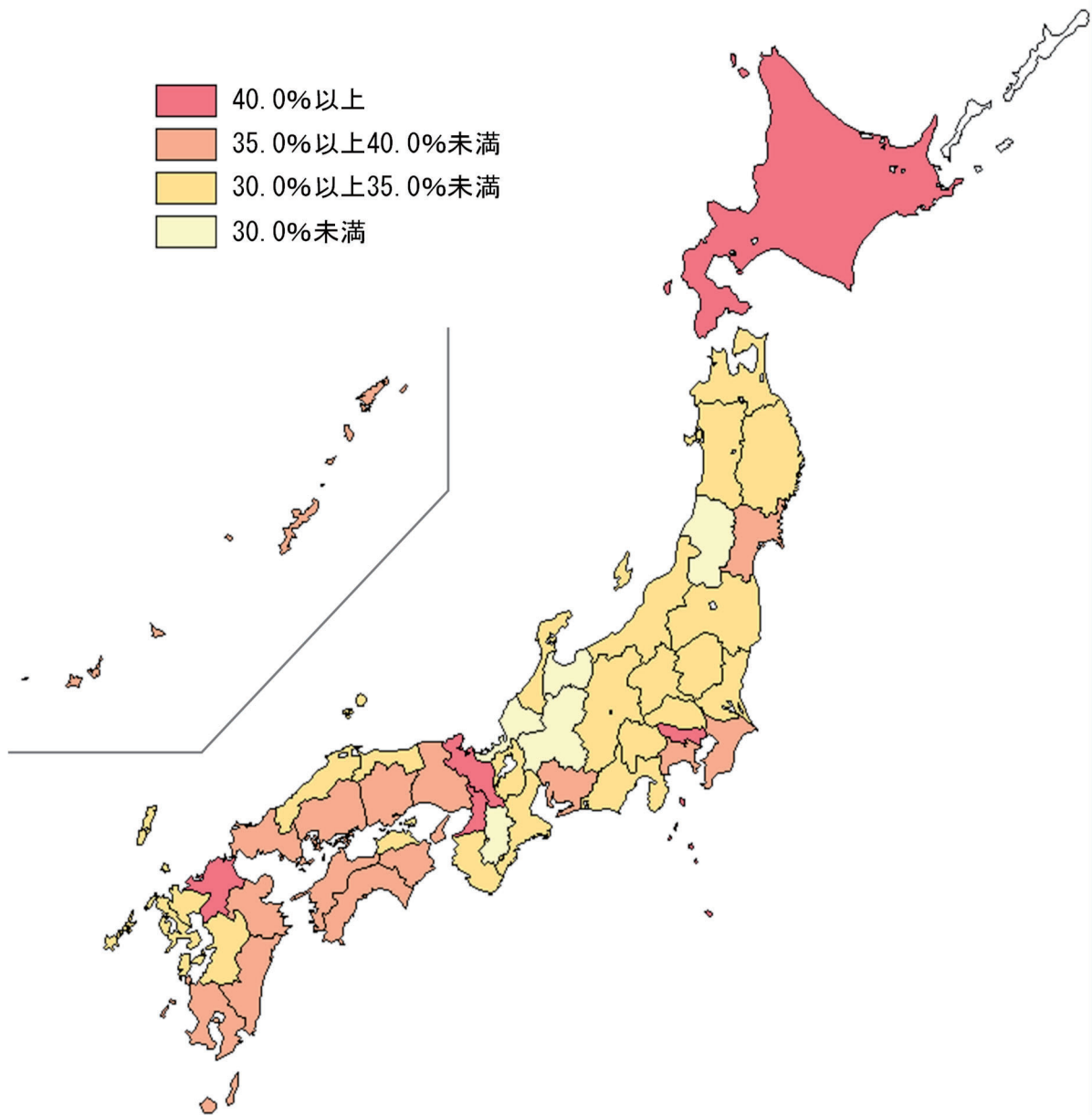
- ◆ 「単独世帯」の割合が最も上昇（2015年と比べ3.5%ポイント）
- ◆ 「夫婦と子供から成る世帯」は減少が続き、2020年は25.1%

※ ここでいう子供は年齢を問いません。

注意点◎ P. 40

Q4 一人暮らしの割合が最も高い都道府県は？

一般世帯のうち単独世帯の割合—都道府県（2020年）



A 東京都が50.3%と最も高い

◆ 2位 大阪府（42.0%） 3位 北海道（41.3%）